

平成26年度 元気な十和田市づくり市民活動支援事業 交付実績

(単位:円)

スタート支援コース (7事業 1,205,000円)				
番号	団体名	事業名	事業概要	補助金
1	TMG48 (トワダもてなしガールズ)	女性パワー全開!!もっと十和田がスキになる100点満点の笑顔のおもてなし	市内のさまざまな団体が主催するイベントの運営を支援するとともに、春まつりを初めとして訪れた観光客をおもてなしすることで、地域の活性化に貢献する。	200,000
2	十和田市現代美術館友の会	アートに親しむ市民を育てる友の会事業	市民のアートによるまちづくりの理解を深めることで、まちづくり活動に積極的に参加する市民を増やす。 ・アートをもっと知りたい人のためのアート初級講座の開催(全3回)	53,000
3	青い森の小さな調査団	十和田湖・八甲田山麓に生育する樹木「イタヤカエデ」の樹液採取調査事業	森と人とのつながりをテーマに、植生調査、事前学習会、ワークショップ、イタヤカエデの樹液回収などを通じて、すばらしい自然財産にめぐまれていることを学ぶ。	200,000
4	あおもり野菜ソムリエの会とわだクラブ	十和田の野菜勝手に応援したい!	実演による試食提供やレシピ考案を通して、首都圏生活者に十和田の野菜の魅力を伝え、PRを図る。また、日々の活動でもレシピやポップをつくることで、ソムリエが同行しないときでも同様の効果を得られるようにする。	200,000
5	市民による手づくり音楽祭実行委員会	市民による手づくり音楽祭事業	市内小、中学校及び高校吹奏楽の演奏を聴くためには大抵の場合はホールや会館等あらたまった場所が多く、気軽に耳にする機会が多くなかったことから、市民が集まりやすい場所で子供たちが演奏を披露する場所を提供するため、イオンスーパーセンター十和田店駐車場において「市民による手づくり音楽祭」を開催する。	152,000
6	十和田のまちなかをアートで盛り上げる会	まちをあるけばアートに出会えるまちにしたい!「まちなかアートスクール」事業	アートに触れる・知る・学ぶ機会を私たち市民の手で提供し、「アートのまち十和田市をいつでも楽しめる」環境を創出するため、創作活動を行っている現役のアーティストを講師に招き、子どもをはじめとする市民や観光客を対象に、アートに関する講座やワークショップを実施する。また、まちなかギャラリーとして、アート作品の発表展示機会の創出、商店街に展示するなどし、アートとまちを知る機会を提供する。	200,000
7	チーム・わんぱくとわだっこ(十和田っ湖)	みんなに届け!!! 僕らの十和田湖	地元の子供たちによる十和田湖伝説の演舞披露、大型紙芝居やよさこいなどにより、十和田湖の魅力を多くの人に発信し、十和田湖に興味、関心を持ってもらうことで、活力あふれる十和田湖を取り戻す。また、市内小学生との交流を通じて、十和田湖が市の宝であることを再認識してもらう。	200,000
ステップアップ支援コース (8事業 1,756,000円)				
番号	団体名	事業名	事業概要	補助金
8	相坂上えがお・サロン会	高齢者の孤立を防止! 地域ふれあいいきいき事業	誰でも安全安心に暮らしていける地域づくりのため、定着してきている高齢者の集いのさらなる拡充を図る。(認知症防止講座の実施、高齢者ヨガの中・高年齢への対象拡大、野菜ソムリエによる食と健康講座開催など)	40,000
9	とわだ夏おどり実行委員会	第7回とわだ夏おどり(第5回ゆかたの似合うコンテスト)	「とわだ夏おどり」の定着をめざし、花火大会、灯籠流し等と合わせて、「ゆかたの似合う女性コンテスト」を目玉として県内外に告知、広報を展開したい。	300,000
10	十和田市文化財保護協会	十和田市の文化財マップの作成	市民に文化財への関心を持ってもらい、認識を深めることで文化財を後世に伝えるため、「文化財マップ」(詳細版、携帯版)のデータ収集、解説文作成及び原版を作成する。	160,000
11	「太素の水」保全と活用連合協議会	地域連携による稲生川見学環境整備事業 ~「QRコード付き稲生川解説看板」整備と「稲生川学習用DVD」の作成~	①現在稲生川沿いには市内複数の団体がそれぞれの目的で看板を立てているが、情報に統一感がないことから、稲生川取水口からラジオトープまで最新情報が掲載された一貫した看板を設置する。 ②稲生川学習用DVDは20年以上前に作成されたもので情報が古いことから、三本木原開拓と稲生川の郷土学習と観光PRに役立つ「稲生川学習DVD」を200枚作成する。	300,000
12	十和田市子ども劇団育成会	ワークショップ♥チョッキさんと街に飛び出そう(仮)	子どもたちに表現することの楽しさや自らが豊かな人間性を育むことを目指し、昨年ワークショップで実施したパントマイムをアート広場などの屋外で開催し、市民と一体となった表現活動とする。	192,000
13	十和田市名水保全対策協議会	平成の名水百選「沼袋の水」次世代に引き継ぐための自然環境体験学習	平成の名水百選「沼袋の水」を地域資源として守るため、当協議会、赤沼町内会、市立西小学校が連携し、環境調査を実施。その結果を踏まえ、市民を対象として、湧水が育む自然環境などの学習会を開催することを通じて、地域への愛着や環境保全の大切さを学ぶことで、次世代に伝えていく。	164,000
14	とわだYosakoi夢まつり実行委員会	とわだYosakoi夢まつり	十和田市現代美術館開館以来、「街をアートに」を合言葉に官庁街通りを中心として、アートによるまちづくり、活性化が進められている中、官庁街通りに市内及び県内外からより集客を図ることで、市のPR、活性化につなげるため、「とわだYosakoi夢まつり」を開催する。	300,000
15	馬花道(ばかどう)	元気でフレッシュなよさこい活動で十和田市を内から外から活性化計画	市民と踊り子が一体となり、楽しく元気になることで市民の心身における健康増進及びよさこいの観覧をきっかけとして商店街などのまちなかの回遊につなげるため、市内の公共施設を中心として、市民が無料で観覧できるよさこいの発表の場を設ける。また、こういった場を通じて、市民によさこい、馬花道に関心を持ってもらい、メンバーの育成、拡充を図ることで、今後出場する県内外でのイベントでの「元気な十和田市」のPRにつなげる。	300,000
市民協働活動コース (1事業 2,369,000円)				
番号	団体名	事業名	事業概要	補助金
16	白上湧水会	(仮)桜の名所白上湧水公園整備事業	市内で唯一湧水のある公園として親しまれているが、白上湧水公園施設は約30年経過していることから、照明灯の太陽光発電照明への置換、藤棚の修繕、池の泥の浚渫などを実施し、人々の憩いの場とする。	2,369,000

地域活動拠点化支援コース (4事業 3,646,000円)				
番号	団体名	事業名	事業概要	補助金
17	南小稲町内会	女性にやさしい、高齢者にやさしい、そして膝にもやさしい心地良い南小稲町内会活動拠点作り	女性、高齢者、膝の悪い人が、トイレのため自宅や南公民館に行くことができなくなり、落ち着いて長時間の会議や催物が開催できるよう、和式トイレから洋式ウォッシュレットトイレに改修し、活動の活性化を図る。	294,000
18	牛鍵町内会	子供に嫌われない爽やか快適トイレ改革で老若男女が集う元気な牛鍵町内会づくり事業	集会所のトイレが和式汲み取りであることから女性の集まりが悪く、小学生の体育振興会は他地区の施設を使用している。町内会の強化につながるよう洋式水洗トイレに改修し、老若男女、特に子どもたちも利用する拠点にしたい。	1,200,000
19	芋久保町内会	よろこびもかなしみも力を合わせるムラをめざしてトイレ洋式化事業	トイレが狭く和式で古いため、子ども、老人や若い女性が長居できない状況にあるため、洋式水洗バリアフリーに改修し、トイレ改善による集会所機能の強化、地域内外のコミュニティ向上を図る。	952,000
20	豊ヶ岡町内会	「老いも若きも生き生き拠点づくり」 豊ヶ岡地区、屋内活動コミュニティの拠点整備事業	腐食している外壁・内壁・断熱材の張り替え、玄関のバリアフリー化と拡張、窓・玄関の戸・網戸などの交換などを実施し、足腰が不自由で寒がりな家に閉じこもりがちな高齢者も心配なく活動に参加でき、健康維持と融和と協和のある町内会を育成する。	1,200,000
地域づくり事業支援コース (13事業 10,604,000円)				
番号	団体名	事業名	事業概要	補助金
21	特定非営利活動法人プロ・ワークス十和田	十和田市民が関わる文化芸術プログラム推進事業	市内小、中、高校等の後援及び協力団体により、市制施行10周年にふさわしい文化芸術事業として、日本を代表する藤原歌劇団・二期会の最前線で活躍する音楽家で構成される「Divo e Diva」によるオペラ公演を開催するとともに、交流プログラムを行い、音楽芸術家と市民交流を図る。	1,000,000
22	十和田サンバ実行委員会	十和田サンバカーニバル2014	「産馬通りでサンバ！」を合言葉に、「十和田サンバカーニバル」の開催を通して、関係諸団体との連携を深めながら、町の歴史を辿り、社会資源の発掘、子どもや社会教育に貢献し、中心商店街、地域の活性化を図る。	1,000,000
23	とわだ軽トラ市実行委員会	☆あつまれ子どもパワー！☆ 家族と地域の絆を深める軽トラ市	「とわだ軽トラ市」の開催を通じて、次世代の担い手である子どもたちが、農業者等の販売機会、消費者との交流機会をつくとともに、地元産品や地域への理解を深め、将来的に十和田市を盛り上げていくパワフルな市民を育成する。	1,000,000
24	八甲田自然塾	八甲田山麓を生かした資源循環社会の構築を考える塾	八甲田山麓を生かした資源循環型社会の構築を目指し、八甲田自然塾を開催し、エコヘルスをテーマとした講座、研修合宿、研究会に取り組み、研究者、専門家、首都圏等からの参加、交流により、十和田市の元気づくりにつなげる。	439,000
25	セーフコミュニティとわだをすすめる会	安全安心なまちセーフコミュニティ応援歌作成事業 ～「(仮称)未来につながる安全安心なまちとわだの作詞・作曲・振り付け」～	安全安心なまちづくりセーフコミュニティをさらに推進するため、オリジナル応援歌を作成し、振り付けを行い、体力づくりに活用させることにより、子どもから高齢者まで楽しく気軽に実施できる転倒やけがの予防運動とすることで、セーフコミュニティの浸透につなげていく。	460,000
26	楽しく学んで、そっと寄り添うスマイルラボ	セーフコミュニティのまちだから、人生(みち)に迷ったら学VIVA!!	十和田市の課題の一つである高い自殺率を下げるため、心理学における認知行動療法を取り入れて、うつ傾向の人がマイナスの考え方からプラスの考え方に転換できるよう参加型の講座(集会)を月2回開設し、心身の変調に気付いた初期の段階で自己解決につながるサポート活動に取り組む。	760,000
27	Kyosokyodo(共創郷土)	市民共創の地域ブランドづくり～ 稲生川の恵みの米×コシノジュンコの出会いで目指せ！ 夢の地域ブランド＜日本酒編＞～	未来遺産登録となった稲生川を市民の財産として育み、未来遺産運動を広く地域全体に展開する。 ①昨年作成した稲生川に関する学習小冊子を増刷する。 ②稲生川の水で育った恵み米を使った地域ブランド酒づくりを支援し、ラベルデザインや商標登録など、地域ブランドの立ち上げをプロデュースする。(市の酒縁研究会、農家、蔵元などとの連携事業)	800,000
28	十和田湖・奥入瀬観光ボランティアの会	乙女の像ろまんヒストリー 子どもにも分かるガイド本発刊事業	平成25年度に収録したインタビュー、講演記録等16タイトルのデータを生かして、子どもたちにも理解できるマンガや講演記録を収録した乙女の像の真実を伝えるガイド本を発刊する。子どもたちを初め市民がその価値に改めて気づき、地域への関心を深め、故郷に対する誇りを高めることにつながる。	995,000
29	特定非営利活動法人奥入瀬自然観光資源研究会	十和田湖・奥入瀬環境教育プログラム構築事業	これまでに把握した十和田湖・奥入瀬エリアの学術的価値、教育的価値をベースに、学習プログラムとして提供を試行、検証するため、環境教育先進事例研修や、市内小、中、高校生を対象に環境教育プログラムを実施する。これにより、地域資源を生かした旅行商品化を探る。	850,000
30	三本木小地区安全・安心協働活動協議会	あいさつ運動による地域活性化事業	新興住宅が多く、学区全体のまとまりや連携が薄いため、あいさつを推進することにより、明るく健やかな笑顔が生まれ、人間関係に町内間、世代間にも心的融和が図られ、お互いがどんなことでも話し合える協調性・協働を求めやすい場にてできるものと確信し、あいさつ運動を地域挙げて取り組む。	300,000
31	三本木小唄普及委員会	三本木小唄流し踊り復興プロジェクト『みんなしておどるびゃ！』	復元された「三本木小唄」を新しい地域資源として定着させるため、講習会の開催、身体障害者用の浴衣の整備など、三本木小唄流し踊りの普及に取り組む。	1,000,000
32	十和田ガーデン花街道	「とわだ花守美人(はなもりびと)」と市民が育てる花街道事業	官庁街通りは宿根草によるストリートガーデンとして県内外から高い評価がある。花壇づくりには最も難しい三年目を迎えることから、市作業員では毎日行えない専門作業を、花守美人が専門的な知識と技術を生かし手入れを行うとともに、官庁街通り花壇の市民ボランティアを育成するための講習会を開催する。	1,000,000
33	奥入瀬温泉活性化協議会	奥入瀬温泉郷フラワーロード計画	十和田湖温泉郷を中心とするエリアを花で装飾し、景観の改善を図るとともに、地域住民が直接かかわることでの新たなコミュニティの形成を促進する。また、貴重な蝶々や生態系を観察できる庭「バタフライガーデン」を三本木農業高校と共同で実施する。	1,000,000

学生のまちづくり支援コース (2事業 260,000円)

番号	団体名	事業名	事業概要	補助金
34	北里にんじんサークル	十和田大好き十和田市で暮らす北里大学生による、馬と一緒に駒の街の魅力発信応援プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生の視点で馬を活用したボランティア活動及び地域での日常を公開し、SNS、ブログ、ホームページの制作を通じて、馬の産地「十和田市」の魅力を伝える。 ・9月下旬に東京都で開催される国内最大規模の馬事イベント「愛馬の日」会場での十和田馬事文化や事業活動を紹介する。 	200,000
35	とわだ市民活動ネットワーク	北里大学生を十和田びいきにするぞ	市のイベント情報、求人情報やお得情報などを壁新聞にして大学に掲示することや、卒業生やその家族に、紙媒体やネット媒体などで十和田市の新しい情報を届けることで、大学卒業後も「十和田びいき」になってもらう。	60,000
合計				19,840,000